

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1093	(H.25)No.	1093
-----------	------	-----------	------

事務事業名	農地銀行農地移動適正化事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
農業委員会事務局	農業委員会事務局	秋永 正人	

会計区分	事業コード	291001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	農地銀行農地移動適正化事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業委員会費	農地銀行農地移動適正化事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	5	計画的な集落環境整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農業の担い手を育成確保と農地の大規模な集約の実現を図る。
事業内容
<p>○農業委員による農地パトロール等を行い耕作放棄地の解消と耕作放棄地予備軍の把握に努め、農地銀行制度により農地の貸し手と借り手のマッチングを図る。(農地のあっせんを含む。)</p> <p>○H26.7.19の農業委員の任期満了・改選を踏まえ、任期1年目に研修を実施する。</p>

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定(賃借権の審査)を年2回実施。 農地銀行制度に基づき貸し手の情報を収集し、新規就農者や規模拡大を目指す農業者にあっせんする。 「人・農地」プランの策定、農地中間管理制度に向けた地区での話し合いを、農地の利用権設定の面から支援し、市全体プランと地区別プラン2件の決定につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定(賃借権の審査)実施 農地パトロールによる適正管理指導 「人・農地プラン」策定支援 視察研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定(賃借権の審査)実施 農地パトロールによる適正管理指導 「人・農地プラン」策定支援 	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定(賃借権の審査)実施 農地パトロールによる適正管理指導 「人・農地プラン」策定支援 	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定(賃借権の審査)実施 農地パトロールによる適正管理指導 「人・農地プラン」策定支援

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	0千円	100千円	702千円	100千円	100千円
内訳(千円)	国・県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0)	100	702	100	100
人工数	職員	0.30人	0.43人	0.43人	0.43人
	臨時職員等				
②概算人件費	(0千円) 2,280千円	3,268千円	3,268千円	3,268千円	3,268千円
①+②総事業費	(0千円) 2,280千円	3,368千円	3,970千円	3,368千円	3,368千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
担い手の高齢化や死亡により、優良農地でも耕作者不在の事態が顕在化してきた。積極的なあっせんなどさらに踏み込んだ対策が必要。	耕作放棄地の解消と予防のため、耕作放棄地予備軍の把握と新規就農者、規模拡大希望者へのあっせん(農地銀行)を行う。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	農地の貸し手と借り手のマッチングを進めることで、農地の荒廃、ひいては集落環境の荒廃を防ぐことができた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	耕作放棄地を地域づくり組織が管理し、利用者に貸し出す「レクリエーション農園」の実現に向けて、地域づくり組織、農業委員、地域部と協議中。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
・農地中間管理制度への対応と農地銀行制度の拡充(貸し手の情報の収集・把握・借り手へのあっせん)が必要である。	